

自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100484		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム長野上松		
所在地	長野市上松5丁目1-4		
自己評価作成日	令和7年2月17日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の「安心」と「尊厳」のある生活を実現するために、お一人お一人に適した介護計画を作成し、専門的な認知症ケア及びそれぞれの立場に合った生活援助サービスを提供致します。また、ご家族や地域の方々との連携または協力体制の充実を図るため、これらの方々とも好ましい関係を築くとともに、それらの方々にとって有用な存在となれるよう努めています。スタッフとともに、入居者様の笑顔が沢山見られるケアを目指しています。

事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;ligosyocCd=2090100484-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;ligosyocCd=2090100484-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

長野市郊外の住宅地に当ホームは立地しており、利用者が散歩がてらに立ち寄ることのできるコンビニエンスストアが隣接している。繁華街からは離れているものの、近くにはホームセンター、スーパー、レストランなどがあり、利用者は介助を受けて出かけることができる。地域の方々との交流や、ボランティアも頻繁に訪問してくれて入居者の楽しみになっている。提供されている食事は、本部のメニューに基づいてはいるものの専門の調理師による季節を感じさせるアレンジ料理が提供されており、食事を楽しんでいる様子がよくわかる。組織がしっかりしているので帳票などはしっかり整備されている。職員の研修は定時に開かれ人間関係も良く、個々の職員にあった労働条件で勤務できている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	環境・福祉事業評価センター		
所在地	長野市南高田2丁目5番地16		
訪問調査日	2025年3月11日		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(りんどう)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36,37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目: 28)		

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
ユニット名( あじさい )			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		